

科目名	GCB II						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にてグラウンドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	<p>学生を主体者と認め、肯定的な姿勢で取り組み、学生自身に「気づき」を促すことにより、継続的な行動変容につなげる。 社会の変化に対応できる良識とスキル・知識を備え即戦力として社会で活躍する為、恵まれた人生を過ごしていることに感謝し、地域・国家の発展に貢献できる人材を目指す。</p>						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		考えることの大切さを知る(先人の話や自分を取り巻く環境について考える)	
	○	○		○		自分の言葉で伝える大切さを知る(言語化し、自分の成長を実感する)	
	○	○		○		目標の大切さ、志の大切さを知る(目標が定めることで行動することを知る)	
	○	○		○		行動する大切さに気づき、実践できる	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックII 志の教育 学生用テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	・オリエンテーション ・グローバルシティズンと志			振り返りシート提出		
	2	・なぜ志を立てることが大切なのか			振り返りシート提出		
	3	・自己を知る			振り返りシート提出		
	4	・伝える力を学ぶ(1)～プレゼンテーション～			振り返りシート提出		
	5	・伝える力を学ぶ(2)～グループコミュニケーション～			振り返りシート提出		
	6	・先人の志に学ぶ～プロとは～			振り返りシート提出		
	7	・成功者の考え方に学ぶ～まとめてに向けて～			振り返りシート提出		
	8	・スピーチ(授業を受けての振り返り)			振り返りシート提出		
評価方法	(1)出席(2)授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(単位認定)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席	○			○		50%
	授業態度	○			○		50%
履修上の注意							

科目名	SPI対策Ⅱ						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory						
単位数	2	時間数	30	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	進学塾講師		
対象学科・学年	エアライン2年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI3の形式の言語問題に慣れ、言語知識を増やすことができる。	
		○				SPI3頻出の非言語問題の解法を学び、基本問題を確実に解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	SPI3完全版 これがSPI3						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	§ 1-1 推論			理解できなかった問題を繰り返す。		
	2	§ 1-2 集合			理解できなかった問題を繰り返す。		
	3	§ 1-3 表の読み取り			理解できなかった問題を繰り返す。		
	4	§ 1-4 順列・組み合わせ			理解できなかった問題を繰り返す。		
	5	§ 1-5 確率			理解できなかった問題を繰り返す。		
	6	§ 1-6 代金の精算			理解できなかった問題を繰り返す。		
	7	§ 1-7 料金の割引			理解できなかった問題を繰り返す。		
	8	§ 1-8 分割払い			理解できなかった問題を繰り返す。		
	9	§ 1-9 損益算			理解できなかった問題を繰り返す。		
	10	§ 1-10 速さ・距離・時間			理解できなかった問題を繰り返す。		
	11	§ 1-11 グラフの領域			理解できなかった問題を繰り返す。		
	12	§ 1-12 物の流れと比率			理解できなかった問題を繰り返す。		
	13	§ 2-1 二語関係			知らなかった言語を確実に覚える。		
	14	§ 2-2 熟語			知らなかった言語を確実に覚える。		
15	§ 2-3 語句の用法			知らなかった言語を確実に覚える。			
評価方法	期末テストの点で100%評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	サービス介助演習						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	日本ケアフィット共育機構		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	実施団体に従事		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	取得したサービス介助士資格の復習と、新たな時代に即した「障害の社会モデル」観点からの考え方にシフトさせることで、いつでもどこでも配慮が出来るよう、学んだ知識・技術を自身に定着させておく必要性を再認識する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○			取得したサービス介助士資格の学習項目を振り返り、情報更新とともに実践することができる。	
	○			○		高齢者・障害者への接遇を振り返り、できる合理的配慮ができる。	
	○					心のバリアフリー(障害の社会モデルの考え方に配慮した行動ができる)	
テキスト・教材 参考図書	サービス介助士・准サービス介助士テキスト、「心のバリアフリー」DVD						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	心のバリアフリー(障害の社会モデルの理解)・障害者差別解消法					
	2	ホスピタリティ・マインド					
	3	ノーマライゼーション					
	4	高齢者への理解と接遇					
	5	車いす使用者への理解と接遇					
	6	聴覚障害者への理解と接遇					
	7	視覚障害者への理解と接遇					
	8	自立支援(身体障害者補助犬・ユニバーサルデザイン)					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	評価方法は(1)小テスト(2)宿題・レポート(3)平常点とする。 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○		○	○		40%
	宿題・レポート	○	○		○		40%
	平常点	○			○		20%
履修上の注意	No.5 車いす実技の日は、動きやすい服装・スリッパ不可でお願いします。						

科目名	航空業界対策Ⅱ						
科目名(英)	Interview lesson and Practical Study for Airline						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	航空業界を目指すうえで必要な知識を習得し、実務に携わる業務内容を学ぶ。また、面接時に必要なノウハウを理解し、実践できるようにする。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				航空業界に必要な知識を理解し、実務に対応できる基礎を応用することができる	
	○			○		航空業界対策・面接対策を実践することができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	航空業界対策・面接練習①			事前に企業研究をしておく		
	2	航空業界対策・面接練習②			事前に企業研究をしておく		
	3	航空業界対策・面接練習③			事前に企業研究をしておく		
	4	航空業界対策・面接練習④			事前に企業研究をしておく		
	5	航空業界対策・面接練習⑤			事前に企業研究をしておく		
	6	航空業界対策・面接練習⑥			事前に企業研究をしておく		
	7	航空業界対策・面接練習⑦			事前に企業研究をしておく		
	8	航空業界対策・面接練習⑧			事前に企業研究をしておく		
	9	航空業界対策・面接練習⑨			事前に企業研究をしておく		
	10	航空業界対策・面接練習⑩			事前に企業研究をしておく		
	11	航空業界対策・面接練習⑪			事前に企業研究をしておく		
	12	航空業界対策・面接練習⑫			事前に企業研究をしておく		
	13	航空業界対策・面接練習⑬			事前に企業研究をしておく		
	14	航空業界対策・面接練習⑭			事前に企業研究をしておく		
	15	航空業界対策・面接練習⑮			事前に企業研究をしておく		
評価方法	(1)授業中の発表 (2)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表	○	○		○		50%
	授業態度				○		50%
履修上の注意							

科目名	実用英語Ⅱ－①						
科目名(英)	Prctical English I II－①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
	○					様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
	○					ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、TOEICテストの概要と学習方法、聴解の勉強方			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	2	Listening(Section1 &2)、Reading Part 5(語彙①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	3	Listening(Section3&4)、Reading Part 5(語彙②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	4	Listening(Section 5 &6)、Reading Part5(文法 品詞①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	5	Listening(Section7 &8)、Reading Part5(文法 品詞②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	6	Listening(Section9 &10)、Reading Part6(長文空所問題①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	7	Listening(Section11 &12)、Reading Part6(長文空所問題②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	8	Listening(Section 13&14)、Reading Part7(長文読解①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	9	Listening(Section 15&16)、Reading Part7(長文読解②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	10	Listening(Section 17&18)、Reading Part7(長文読解③)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	11	Listening(Section 19&20)、Reading Part7(長文読解④)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	12	演習問題 Test 1 (Listening)、解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	13	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説①			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	14	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説②			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	15	公式問題分野別学習 Reading:Part 5 Listening:Part1			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	16	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	17	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	18	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	19	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	20	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	21	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	22	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	23	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	24	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	25	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	26	総合問題 Test 2 (Listening)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	27	総合問題 Test 2 (Listening) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	28	総合問題 Test2 (Reading)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	29	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	30	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 (4)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 TOEICの受験結果を評価する。450点以上を100点、425点～445点を90点、400～420点を80点、360～395点を70点、270点以上を60点以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	○	○				25%
	朝自習プリント・宿題	○	○		○		15%
TOEIC検定	○	○				10%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語Ⅱ－①						
科目名(英)	Practical EnglishⅡ－①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解することができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解することができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、文法：unit1、Listening：Part1					
	2	文法：unit2、-4 Listening：Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	3	文法：unit5-7 Listening：Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	4	文法：unit8-10 Listening：Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	5	文法：unit11-13 Listening：Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	6	文法：unit14-16 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	7	文法：unit17-19 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	8	文法：unit20-22 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	9	文法：unit23-25 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	10	文法：unit26-28 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	11	文法：unit29-31 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	12	文法：unit32-34 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	13	文法：unit35-37 Listening：Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	14	文法：unit38 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	15	Reading：Part5 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	16	Reading：Part5 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	17	Reading：Part5 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	18	Reading：Part6 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	19	Reading：Part6 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	20	Reading：Part6 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	21	Reading：Part6 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	22	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	23	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	24	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	25	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	26	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	27	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	28	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	29	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	30	Reading：Part7 Listening：Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
履修上の注意	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
宿題・レポート	◎	○		○		25%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語Ⅱ－①（Bクラス）				
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade II－①(B Class)				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	蟻川信三
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	福岡県立高等学校27年間勤務
対象学科・学年	エアライン科2年生				
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				目標
	○				語彙:英語検定2級レベルの語彙(約4000～5000語)の意味が理解できるようになる
	○	○			読む:まとまりのある説明文を理解し、実用的な文から必要な内容を読み取ることができるようになる。
	○				書く:日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになる
	○				聞く:様々な内容の英語を理解し、正しく聴き取れるようになる
		○			話す:日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができるようになる
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 での順パス英検2級 1700語				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	プレースメントテスト 4/13			
	2	プレースメントテスト(FBを行う) & 英検2級の概要説明 4/14			
	3	序説:名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素(S/V/O/C/M)4/16			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること
	4	序説:英語の5文型と文の構造 4/20			各文型の基本構造を言えるように覚えること 「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう
	5	1日目:短文の語句空所補充問題①(単語)解説&問題 4/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	6	2日目:短文の語句空所補充問題②(熟語)解説&問題 4/23			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	7	3日目:短文の語句空所補充問題③(文法)解説&問題 4/27			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	8	4日目:短文の語句空所補充問題④(語法)解説&問題 4/28			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	9	5日目:長文の語句空所補充問題①解説&問題「A」・「B」4/30			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	10	6日目:長文の内容一致選択問題①解説 5/7			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	11	6日目:長文の内容一致選択問題①問題「A」・「B」 5/7			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	12	7日目:長文の内容一致選択問題②解説 5/11			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	13	7日目:長文の内容一致選択問題②問題「A」・「B」 5/11			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	14	8日目:英作文の問題① 解説 5/12			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	15	8日目:英作文の問題① 問題 5/12			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	16	9日目:会話の内容一致選択問題① 解説&問題 5/14			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	17	10日目:文の内容一致選択問題① 解説&問題 5/18			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	18	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題単語⑤ 5/18			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	19	演習:リスニング特訓① 5/19			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	20	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題熟語⑥ 5/19			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	21	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題文法⑦ 5/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	22	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題語法⑧ 5/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	23	演習:リスニング特訓② 5/25			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	24	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題②-A 5/25			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	25	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題②-B 5/26			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
	26	演習:リスニング特訓③ 5/26			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること
27	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-A 5/28			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	

	28	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-B	5/28	「英検2級集中ゼミ」を予習するように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	29	演習:リスニング特訓④	5/29	「英検2級集中ゼミ」を予習するように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	30	前期定期考査(筆記)	5/29				
評価方法	① 定期考査を実施する(筆記) ② 月曜日から金曜日まで、毎朝授業前に単語の小テストを行う ③ 宿題を数回課す。④ 授業態度(授業中の取り組みや発表)を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
授業態度	◎	○		○		20%	
履修上の注意	①授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ②辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③筆記用具は必ず持参すること ④授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語Ⅱ－①				
科目名(英)					
単位数	4	時間数	60	担当者	内丸 誌帆
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	英検準2級合格を目標とする。 基本的な文法・単語を理解し、ホテル・空港、またそれに準ずる業務に必要な最低限度の英語力を身につける。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				準2級程度の文法を理解し、過去問題を解くことができる。
	○	○			頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
			○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	実用英語1 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習
	2	実用英語2 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習
	3	実用英語3 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習
	4	実用英語4 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習
	5	実用英語5 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習
	6	実用英語6 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習
	7	実用英語7 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習
	8	実用英語8 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習
	9	実用英語9 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習
	10	実用英語10 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習
	11	実用英語11 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習
	12	実用英語12 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習
	13	実用英語13 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習
	14	実用英語14 英作文問題② / リスニング			単語テストに向けた学習
	15	実用英語15 英作文問題② / リスニング			単語テストに向けた学習
	16	実用英語16 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習
	17	実用英語17 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習
	18	実用英語18 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習
	19	実用英語19 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習
	20	実用英語20 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習
	21	実用英語21 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習
	22	実用英語22 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習
	23	実用英語23 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習
	24	実用英語24 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習
	25	実用英語25 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習
	26	実用英語26 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習
27	実用英語27 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習	

	28	実用英語28 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	29	実用英語29 英作文問題② / リスニング	単語テストに向けた学習				
	30	実用英語30 学期末試験					
評価方法	(1)定期試験(2)小テスト(3)宿題・提出物を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語 II-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					英検準2級の合格を目指す。
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる力をつける。
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・文法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	20	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		

	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語C-②クラス 学期末試験	前期の授業内容全般を復習しておくこと				
評価方法	(1) 学年末試験(筆記)を実施する。(2) 授業の中で小テストを4回実施する。(3) 宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	宿題	○			○		10%
履修上の注意	授業に電子辞書または英語辞典を必ず持参してください。 出席が講義回数数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語Ⅱ-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	夏山恵	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年					
授業概要	基本的な単語、文法を習得し、中学校卒業レベルの英語力を習得する。 出題形式に沿った演習と精聴リスニングの訓練を行い、英検3級取得を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					1200語程度の単語、熟語を覚え、応用することができる。
	○	○				テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。
	○	○				テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・啓隆社 Baton Pass G1 ・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート ・過去問題演習プリント ・ジャパンタイムズ はじめての英語音読 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明、自らの動機とゴール設定の明確化				
	2	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	3	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	4	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	6	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	7	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	9	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	10	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	12	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	13	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	14	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	15	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	16	・まとめテスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
18	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと		

	19	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	20	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	21	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	22	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	23	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	24	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	25	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	26	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	27	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	28	実力完成模擬テスト①(筆記)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	29	実力完成模擬テスト②(リスニング)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
30	定期試験	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと					
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話Ⅱ-①						
科目名(英)	English CommunicationⅡ-①						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2020	実施時期	前期/1st Term	担当者実務経験	English Teacher		
対象学科・学年	Airline 2nd Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary & remember key words	
		○				Study to give students confidence to express themselves	
				○		Encourage students to speak with confidence & positive attitude	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Third 1 Student Book with Audio CD, Talk a Lot BOOK1, Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Let's talk about Food					
	2	how do I get there?					
	3	How do you like the city?					
	4	Maps & Giving direction					
	5	First conditional					
	6	Airline English for checkin servility					
	7	Inflight announcement: boarding					
	8	Inflight announcement: safety					
	9	Air travel Airports & Planes					
	10	Could you help me?					
	11	Comparatives					
	12	What would you like?					
	13	Ordering food/drinks					
	14	Test Preperation					
15	End of term Test						
評価方法	(1) Term Examination (2) Attitude and Participation in the class Evaluation: S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	態度・意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	一般教養Ⅱ						
科目名(英)	General Education						
単位数	2	時間数	30	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	進学塾講師		
対象学科・学年	エアライン2年						
授業概要	時事問題や常識問題の理解を深め、繰り返し学習して知識を増やす。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					一般常識の用語を理解し、知識を増やす。	
		○				用語が表す仕組みや働きを理解し、説明できるようにする。	
テキスト・教材 参考図書	一般常識 & 最新時事 一問一答【頻出1500問】						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	§ 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興			答えられなかった問題を覚える。		
	2	§ 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者			答えられなかった問題を覚える。		
	3	§ 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 011経済協定			答えられなかった問題を覚える。		
	4	§ 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮			答えられなかった問題を覚える。		
	5	§ 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産			答えられなかった問題を覚える。		
	6	§ 020ノーベル賞 § 1-1 漢字の書き取り § 1-2 漢字の読み			答えられなかった問題を覚える。		
	7	§ 1-3 難読漢字 § 1-4 同音異義語 § 1-5 同訓異義語 § 1-6 類義語・対義語			答えられなかった問題を覚える。		
	8	§ 1-7 四字熟語 § 1-8 ことわざ・慣用句 § 1-9 敬語 § 1-10 誤文訂正			答えられなかった問題を覚える。		
	9	<復習> § 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興			答えられなかった問題を覚える。		
	10	<復習> § 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者			答えられなかった問題を覚える。		
	11	<復習> § 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 011経済協定			答えられなかった問題を覚える。		
	12	<復習> § 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮			答えられなかった問題を覚える。		
	13	<復習> § 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産			答えられなかった問題を覚える。		
	14	<復習> § 1-1~5			答えられなかった問題を覚える。		
15	<復習> § 1-6~10			答えられなかった問題を覚える。			
評価方法	期末試験の結果(100%)により評価する。						
	成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上						
		言語	非言語	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	エアラインゼミ II						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	ビジネス社会は企業によって成り立っていて、その社会の中で働いていくためには、秩序に従い規範を守って行動することがとても大切です。授業では、ビジネス社会の一員として自信をもって働いていけるように、基本的なビジネス実務マナーを学習していきます。また、航空会社関連等の社員として必要な知識、会社から求められる接客サービスのレベルについて理解を深め、将来の入社を見据えて学習します。客室乗務員希望者へ、面接対策を実施します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ビジネス実務マナー3級検定の取得を目指します。	
	○					社会人として必要とされる基本的な資質・身だしなみ・自己管理について学習する。	
	○					ビジネス実務としての基本的なマナーを学習する。	
	○			○		航空会社面接対策として、客室乗務員としての必要な基礎的な知識を習得する。	
○					情報の整理・伝達に必要な知識を整理し、スムーズに接客対応をすることが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	ビジネス実務マナー検定 3級 実問題集 ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	航空業界の現在の状況について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	社会人としての資質について-身だしなみ・性格・自己管理			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	ビジネスマンとしての資質について-良識・協調性・積極性			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	組織の機能について-業務分掌・職位・職制			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	組織の機能について-職位・社会的な責任			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
	6	組織の機能について-職位・社会的な責任			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	航空業界面接対策-客室乗務員に求められるもの			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	対人関係の対処について-電話対応に必要な知識			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	対人関係の対処について-電話対応に必要な知識			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	対人関係の対処について-電話対応に必要な知識			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
	11	ビジネス実務のマナー-心得・基本のスキル			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	ビジネス実務のマナー-来客対応のマナー・席次のマナー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	ビジネス実務のマナー-来客対応のマナー・名刺交換			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	ビジネス実務のマナー-来客対応のマナー・名刺交換			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	情報の整理・伝達について基礎的な知識,総まとめ			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと			
評価方法	(1)小テストを3回実施する。(2)宿題提出状況を考慮する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○			○		80%
	宿題	○			○		20%
履修上の注意	出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、科目単位を与えない。						

科目名	韓国語Ⅱ-①(必須選択)						
科目名(英)	korean						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	李 銀晶(イ・ウンジョン)		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門学校にて、母国語(韓国語)講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン 科2年						
授業概要	この授業では、隣の国である「韓国」の社会と文化を日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語の文字基本会話・文法について学びます。さらに、この授業をきっかけにして日韓両国の「架け橋」になりたいという強い意志を求めて、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語のコミュニケーションスキルと韓国社会・文化について同時に講義を進めます。また、発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				韓国語の文字・基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションができる	
		○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法との違いが比較できる。	
	○	○				韓国語能力試験対策(TOPIK)2級に合格に必要な知識を習得できる。	
				○		韓国社会と文化と理解して日韓両国関係の改善に寄与できる。	
テキスト・教材 参考図書	韓国語能力試験合格対策講座NEW TOPIK! (白帝社)、韓国語学習スタートブック(Jリサーチ出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	否定の表現「～しません」					
	2~4	好き嫌いの表現「好きです」「嫌いです」					
	5	過去を表す表現「～しました」					
	6~8	希望・願望の表現「～したいです」					
	9	能力を表す表現「上手です」「下手です」					
	10~12	提案の表現「～しましょうか」、韓国語能力試験対策講座 単語練習 名詞					
	13	許可の表現「～してもいいですか」、韓国語能力試験対策講座 読解練習					
	14~16	原因・結果を表す表現「～ので、～して」、韓国語能力試験対策 読解練習					
	17	感嘆を表す表現「～しますね、～ですね」、韓国語能力試験対策 講座 聴解練習					
	18~20	依頼・命令の表現「～してください」、韓国語能力試験対策講座 聴解練習					
	21	二つの分をつなぐ表現「～が」「～して」、韓国語能力試験対策講座 単語 動詞					
	22	意志・推量の表現「～しますか?」「～そうです」、韓国語能力試験対策講座 聴解練習					
	23	まとめ、総合復習、期末試験					
評価方法	1.定期試験 2.小テストと宿題(小テストは学期中1回行います。) 3.出欠状況(無断欠席の場合は減点理由となります。)4.授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	小テスト・宿題	◎	◎				10%
	出欠状況				○		10%
授業態度				○		10%	
履修上の注意							

科目名	中国語Ⅱ-①(必須選択)					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	青柳七重	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	フリーランスで講師・実務翻訳20年	
対象学科・学年	観光系エアライン科 2年					
授業概要	2019年後期に学んだ基本文型を基に、より適切な語彙・表現を身に付け、仕事の現場で使える中国語の習得を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					中国語のアスペクトを学び、動作がどのような状態にあるか示すことができる。
	○					様々な助動詞を使って、より適切な表現ができる。
	○					時間・時間量の表現を習得し、正しい語順で発話できる。
		○				接客用語集をもとに、簡単な中国語でロールプレイができる。
	○					中国語検定準4級・4級に合格するレベルの知識が応用できる。
テキスト・教材 参考図書	.金星堂 中国語Hop・step・Jump / アスク出版 中国語検定準4級トレーニングブック					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	L.1～5 復習			昨年後期に学んだ文法事項・単語の確認	
	2	L.6～9 復習			昨年後期に学んだ文法事項・単語の確認	
	3	L.10 動作を行う場所を表す表現			新出語句の確認	
	4	L.10 数量補語			時間量の確認	
	5	L.10 比較表現				
	6	L.10 時間詞の復習・時を表す表現				
	7	L.10 練習問題 / 小テスト			L.10 文法事項の復習	
	8	発表「週末のスケジュール」Q&A			時間詞を使って週末のスケジュールの発表準備 疑問詞疑問文の復習	
	9	L.11 動作の完了を表す表現 動態助詞「了」			新出語句の確認	
	10	L.11 強調構文「是～的」			動詞・動詞文の復習	
	11	L.11 動作の進行を表す表現「在」				
	12	L.11 動詞の重ね形				
	13	L.11 練習問題 / 小テスト			L.11文法事項の確認	
	14	発表「トピック」			L11で学習した文型を使って、過去のトピックの発表準備	
	15	L.12 時刻・時間詞			新出語句の確認・時間詞の復習	
	16	L.12 願望の助動詞「要/ 想」				
	17	発表「show & tell」			自分の持ち物日での発表準備	
	18	文法事項のまとめ・検定試験の過去問			文型事項の確認	
19	文法事項のまとめ・検定試験の過去問			文型事項の確認		

	20	空港カウンター・機内のシナリオを作成・練習・ロールプレイ	日本語の接客用語・中国語の既習文型の復習				
	21	グループ発表	場面に応じた接客用語がなめらかに発話できるよう練習しておく				
	22	L.10～12・接客用語 復習	L.10～12の文法事項・語彙の確認				
	23	期末試験	L.10～12の文法事項・語彙の確認				
評価方法	(1)各課終了後に小テストを実施する。(2)定期試験を実施する(筆記)(3)発表する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				20%
	発表	◎	○		◎		30%
履修上の注意	無料の音声ファイルをダウンロードし、音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと。						

科目名	プレゼンテーション演習						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	国立大学法人にてテクニカルスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPoint」。そのPowerPointの基本の習得を目指すとともにプレゼンテーションを経験します。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					プレゼンテーションに必要なテクニックを身に付け、応用できる	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションの資料を作成できるようになる	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションを行うことができる	
テキスト・教材 参考図書	情報活用プレゼンテーション						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プレゼンテーションの企画					
	2	わかりやすいストーリー構成					
	3	必要な情報の収集					
	4	センスアップするレイアウトデザイン					
	5	視覚に訴えるチャート化					
	6	訴求力を上げるカラー化					
	7	数値をアピールする表・グラフ活用					
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用					
	9	発表で魅せるアニメーション					
	10	作品作成					
	11	発表					
	12	自信を高める万全な準備					
	13	メッセージが伝わる発表スキル					
	14	信頼を得る質疑応答					
15	期末試験						
評価方法	(1)期末試験を実施する。(2)プレゼンテーションを評価 (3)講義出席・課題提出のすべて行って平常点100点満点とする。末試験を受験しなかった場合、またはプレゼンテーションを行わなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	◎	◎				25%
	プレゼンテーション	◎	◎				25%
	平常点				◎		50%
履修上の注意	プレゼンテーションを各自行ってもらいますので、テーマを早めに考えていてください。						

科目名	接客手話①						
科目名(英)	signlanguage						
単位数	1	時間数	15	担当者	吉田美樹		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	手話指導20年		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	聴覚障害についての知識習得と、ろう者のコミュニケーション・情報獲得等を支援するため、独自の文法を持ち、表情や身振りをを用いて豊かに表現する視覚的な言語である手話を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				聴覚障害について学び、聴覚障害者へ必要な対応方法を配慮することができる。	
	○	○		○		日常よく使う手話表現を学習し、簡単なコミュニケーションをとることができる。	
テキスト・教材 参考図書	一般財団法人全日本ろうあ連盟 ①よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？ ②今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう！」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	聴覚障害とは？				レポート提出	
	2	自己紹介をしてみよう				手話は目で見える言葉です。しっかり講師の表現方法を見て覚えてください。他に知りたい手話があったら遠慮なく聞いてください。	
	3	あいさつをしてみよう				同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	4	手話がわからないとき				同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	5	病気やけがで困ったとき				同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	6	数字や時間の表現を覚えよう				同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	7	趣味を話そう				同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	8	行きたい場所の表現を覚えよう				同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)第一回目講義に対するレポートを提出 (2)各授業項目の手話表現の正確さ・授業態度で評価以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○	○				30%
	授業態度(発表)	○	○		○		70%
履修上の注意	(講師が聴覚障害者の為、手話通訳が同行します)						

科目名	ビジネスコミュニケーション						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	教育事業会社にてコミュニケーション講師に従事		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	就職後、実際のビジネス現場に必要なコミュニケーションに対する理解を深め、実践できる状態をめざす。ビジネスの現場において、業務遂行・人間関係構築のベースとなるコミュニケーション能力について、その基本的な内容の理解を深め、「正しく伝える技術」「正しく聴き取る技術」「チームとして成果を生み出す技術」を習得することを旨とする。 さらに、現在の自分自身の状態を把握するとともに、今後の能力開発の目標設定を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					社会人基礎力の12の能力要素を理解し、内容を説明することができる。	
		○				正しく伝えるために求められることを理解し、演習を通して表現することができる。	
		○				目標設定に必要なことを理解し、自らの目標設定に活用できる。	
		○		○		他者の意見を尊重しながらコンセンサス(合意形成)を行うことができる。	
	○		○			入社時の自己紹介演習を通じてケースに合わせて自分自身を様々な切り口で伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント資料・パワーポイントスライド 日本経営協会 社会人基礎力診断ツール						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ビジネスコミュニケーションの基礎知識(必要性の理解)					
	2	社会人基礎力とコミュニケーション(自分自身の強みと弱みの理解)				振り返りレポートを提出(復習)	
	3	会社組織(使命・役割)、目標を持ちながら働く必要性を理解する 目標設定の留意点を学び、PDCAのための目標設定を行う。				目標設定シートの作成・提出(復習)	
	4	ビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を理解する					
	5	話す力と聴く力に求められることを理解する。 正しく伝える・正しく受け取ることを、演習を通じ理解する。				事前学習シート作成(予習) 振り返りレポートを提出(復習)	
	6	チームワークとコミュニケーション コンセンサスの重要性・留意点を演習を通して理解する。				振り返りレポートの提出(復習)	
	7	チームワークとコミュニケーション 報連相の大切さを学ぶ				教科振り返り小テストの実施	
	8	他者紹介演習、自己紹介演習を通じて、簡潔にわかりやすく伝えることを実践する。				自分自身の自己紹介内容を考えておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施 (2)卒業までの行動変容目標シートを作成 (3)コミュニケーション演習を数回実施 (4)科目振り返り小テストの実施 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				50%
	宿題・レポート	◎	○		○		
	発表・作品	◎			◎		20%
授業内演習		◎		◎		30%	
履修上の注意							

科目名	観光業界事情						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行業関連会社において企画・実務を担当		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	観光業界に従事する者として、「観光」の歴史や社会における役割に対する理解を深め、日常の業務をこなすだけでなく、働く意義を考えながら、企業や社会に貢献することを考える。 実務的なスキルとしての時刻表の基本的な使用方法を学び、実践できる状態をめざす。 世界遺産について自らテーマを設定し、「教わる」のではなく自分自身で調べ・考え・まとめることを実践し、知識を深めるとともに、卒業後に求められる社会人としての「学び方」を身につける機会とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					観光業界の歴史・現状を理解し、自分たちの立場や役割を説明することができる。	
		○				JR時刻表の記載内容を理解し、時刻・時間を調べることができる。	
	○	○				世界遺産に関する学習テーマを自ら設定し、学んだことをレポートにまとめ発表することができる。	
	○			○		上記演習を通じて、「自ら学ぶ」という社会人としての学び方と学生時代との学び方の違いを説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント教材 JR時刻表						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	時刻表に記載されていることの意味と活用方法を学ぶ					
	2	時刻表の使い方を理解する(距離・時刻の調べ方の基本)			授業内容に対する理解度テストの実施		
	3	観光業界に関する基礎知識の理解と、エアライン従事者としての立場					
	4	観光の歴史と現状(観光と交通機関のかかわり)			授業内容に対する理解度テストの実施		
	5	時刻表の活用(簡単な旅程に対する複数の時刻の調べ方)			授業内容に対する理解度テストの実施		
	6	観光地と観光振興 観光関連産業					
	7	観光業界に従事する者としてのメンタルヘルス					
	8	世界遺産自主学习発表演習 科目確認小テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施(2)世界遺産学習レポートの提出(3)プレゼンテーション(4)授業内演習以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				25%
	レポート	◎	○				25%
	発表(プレゼン)	◎			○		30%
	授業内演習		◎		◎		20%
履修上の注意							

科目名	アマデウスシステム実務Ⅱ					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	井上 ゆかり	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にてグランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科・2年					
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約・発券について学び、検定においてAir-Expert(中級)合格を目指す。中級では運賃や運賃規則に関する知識を学び、テキストを参照せずに検定問題に対応できるようになる。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					Specialist(初級)の検定問題を、何も見ずに一人で実施することができる。
		○				新しいエントリを問題によって使い分け、応用させることができる。
		○				運賃ルールの調べ方や読み取り方を理解し、解答のポイントを説明することができる。
		○				Air-Expert(中級)の検定問題を、何も見ずに一人で60分以内に実施することができる。
	○				Air-Expert(中級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、アマデウスユーザーガイド発券・運賃、クイックガイド(早見表)オリジナルプリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	初級振り返り(情報検索、タイムテーブル)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	2	小テスト①・初級振り返り(空席照会・基本PNR作成、乗継PNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	3	初級振り返り(小児・幼児付きPNR作成・MEAL・SEAT・FFP)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	4	小テスト②(初級確認テスト)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	5	情報検索中級編(フライトインフォメーション、時差、GGPCA)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	6	情報検索確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	7	PNR作成演習(PNRの分割、フライト変更)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	8	PNR作成演習(マイルージ情報からのPNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	9	PNR作成演習(セキュリティ設定、QUE送信)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	10	PNR作成演習(PNRのコピー、リマークス入力)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	11	小テスト③(PNR作成確認テスト)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	PNR作成からの最安値検索、運賃照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	13	運賃表の照会と読み取り			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	14	運賃規則の確認(ルーティング)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	15	運賃規則の確認(ストップオーバー)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	16	運賃規則の確認(日付変更、キャンセル)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	17	運賃規則の確認(事前購入)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	18	運賃規則の確認(その他のルール)運賃表読み取り、小テスト④(運賃規則確認テスト)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	19	検定模擬試験①、採点			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	20	検定模擬試験①解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	21	検定模擬試験②、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	22	検定模擬試験②解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
23	定期試験			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		

評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)小テストを数回実施する。(4)授業態度(態度・意欲)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		5%
	小テスト	◎	○		○		15%
	態度・意欲				◎		30%
履修上の注意	Air Expertはクイックガイド持込不可の為、エントリを覚えること。確認テストの際はテキストは見ずに行う。						

科目名	社会教養Ⅱ-①						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にてグランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション(目標設定・クラスルール設定・各委員役割分担)			なし		
	2	就職活動指導①(就職活動状況報告・面接練習)			面接練習をしておくこと		
	3	就職活動指導②(就職活動状況報告・面接練習)			面接練習をしておくこと		
	4	学科行事①(交流会)			簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと		
	5	就職活動指導③(就職活動状況報告・面接練習)			面接練習をしておくこと		
	6	学科行事準備(歓迎会準備)			準備が捗る様にシミュレーション、役割分担をしておくこと		
	7	学科行事②(新入生歓迎会)			簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと		
	8	就職活動指導④(就職活動状況報告・面接練習)			面接練習をしておくこと		
	9	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・面接練習)			面接練習をしておくこと		
	10	社会人としてのマナー知識習得①			社会人として必要なマナーは何なのかを考えておくこと		
	11	社会人としてのマナー知識習得②			社会人として必要なマナーは何なのかを考えておくこと		
	12	社会人としてのマナー知識習得③			社会人として必要なマナーは何なのかを考えておくこと		
	13	社会人としてのマナー知識習得④			社会人として必要なマナーは何なのかを考えておくこと		
	14	社会人としてのマナー知識習得⑤			社会人として必要なマナーは何なのかを考えておくこと		
15	テーブルマナー			今までのマナーを復習し、事前にテーブルマナーについて調べておくこと			
評価方法	(1)授業態度・意欲努力・提出物状況・報告・連絡なく相談等で判断する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	提出物状況				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						